



**学校
だより**

トベラの本

葛城市立新庄北小学校
NO. 3
6月 令和5年6月8日
発行者 校長 杉村茂美

只今、「北小読書週間」開催中です！

「読書量が減っている」という言葉をよく耳にします。

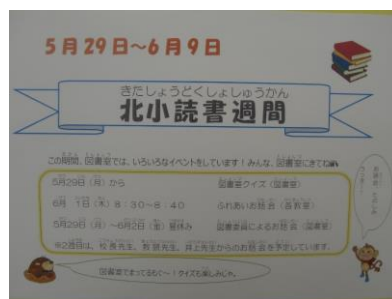
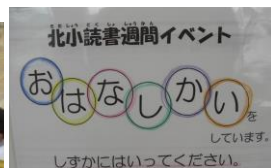
昨年度実施された学習状況調査において、本校の児童は、「学校の授業時間以外において、普段（月曜日から金曜日）1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか？」との質問に、「全くしない」と回答した児童が6割近くいました。「新聞を読んでいますか」との質問には、なんと9割以上の児童が「全く読まない」と回答しました。しかし、「読書は好きですか」との質問には、半数以上の児童が肯定的な回答をしていました。

昨年度までは、コロナ禍の影響で図書室の利用や本の貸し出しに制限があったことも原因の一つだと考えられますが、コロナウイルス感染症も5類となった今、本に親しむ機会をたくさん作っていきたくと考えています。

そこで、5月29日～6月9日までの2週間を「北小読書週間」とし、読書を推進する取組をしています。具体的な内容としては、「図書室でのお話会」「先生とのふれあいお話会」「図書室クイズ」等です。子どもたちが主体となって進めている取組もあります。この2週間の様子をご紹介します。

【図書委員会児童によるお話会】

昼休みの時間を利用して、図書委員の児童が絵本の読み聞かせをしてくれました。図書室にはカーペットを敷いたスペースがありますので、多くの子どもたちが集まってきました。最前列で前のめりになって話を聞く姿、目をキラキラ輝かせて絵本を見ている姿を見つけました。すっかりお話の世界に引き込まれている様子を見ると私も嬉しくなりました。



【先生とのふれあいお話会】

この日は、学級担任ではない先生が絵本の読み聞かせをしてくださいました。普段とは、また違う雰囲気です。先生たちは、数日前から読み聞かせの本を選び、密かに練習をしていました。子どもたちにとっても、私たち教員にとっても、多くの関りができるよい機会となっています。



【図書室クイズ】

図書館補助員の井上先生が、図書室の蔵書の中からクイズを出題してくださいました。低学年と高学年の2種類です。子どもたちは、ヒントを見ながらクイズに答えていきます。その時、自然と新しい本に出合ったり記事の内容を読んだりします。図書室クイズを通して、楽しみながら、本や新聞を手にする機会を増やす工夫をしています。クイズに正解するとポイントが貯まっていくので、素敵なプレゼントがもらえるようです。

この日は、図書室に毎日配架される「こども新聞」の記事から出題されていました。



【図書室の様子】

新聞を読む児童、お互いに本を読み合う児童の姿もありました。期間中は、普段より来室人数・貸出冊数も多いようです。明日（6月9日）で「北小読書週間」の期間は終了します。けれども、



子どもたちが本に触れる機会が終了してしまうのではなく、今後も、本が身近な存在となることを願っています。

ご家庭でも、学校での様子を聞いていただくと幸いです。

